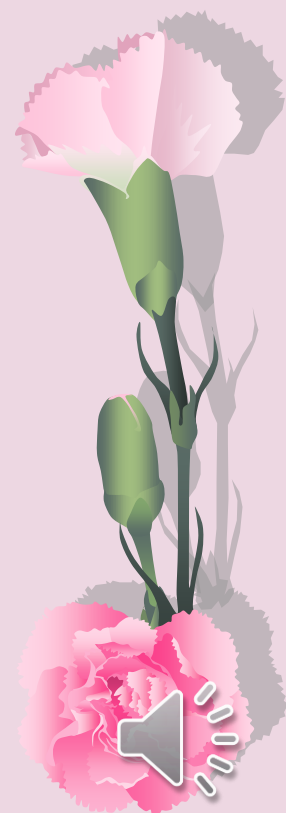


自信を持ち、
安心して生活して頂くために

**強い自己否定のある利用者様に
寄添う声かけや対応の工夫**

グループホームグレイスフル日義

発表・PC操作 永井 真希



取り組んだ課題



対象の利用者様

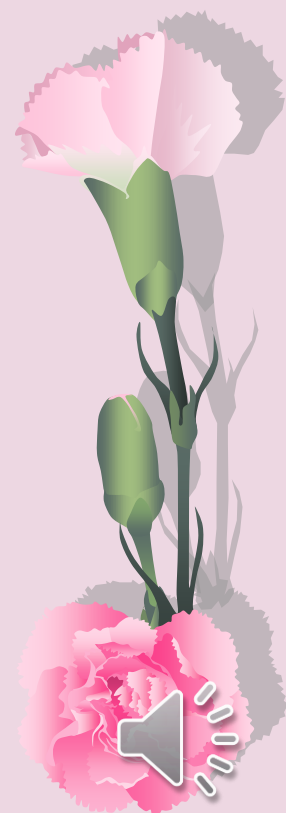
要介護2 83歳 女性



不穏状態→強い自己否定

- ・「私はばかだから」「何にもできないから」
「死ねばいいのよ」「みんなそう言っている」と発言が聞かれる
- ・靴・靴下を脱ぎ、裸足になって歩き回る
- ・ご自分から床に座り込む
- ・他者の言葉を自分への攻撃と受け取る
- ・職員の「そんなことはありませんよ。大丈夫ですよ。」の言葉がけに納得されず、ますます興奮されてしまうことがある

→気持ちを落ち着けて、安心して過ごして頂く
にはどうしたらよいのか？



現状分析 ①

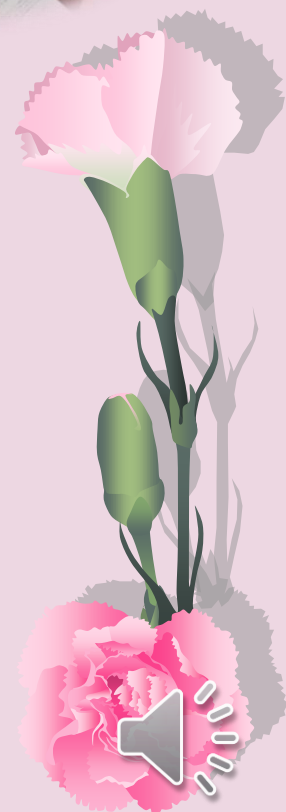
❁ どのような時に不穏になるのか？

- ・24時間シートでの1日のご様子の記録
- ・日々の記録をカンファレンスで分析



<結果>

- ・他の利用者様の動きが多い**午後～夕方**に多い
- ・職員が**大きな声**で他利用者様に話しかける場面でも反応される
- ・認知症が進んでいる**他利用者様が落ち着かれず**、ご本人に近寄って何か言おうとされているも理解できない時 など



現状分析 ②

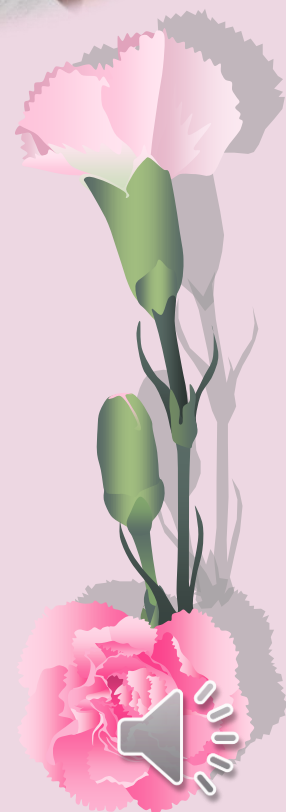
❁ 落ち着いているときの様子は？

- ・24時間シートでの1日のご様子の記録
- ・日々の記録をカンファレンスで分析

<結果>

- ・家事活動に対し、ご自分から

「何かやりましょうか？」と職員に声を掛けてくださる様子がある



検討した対応策

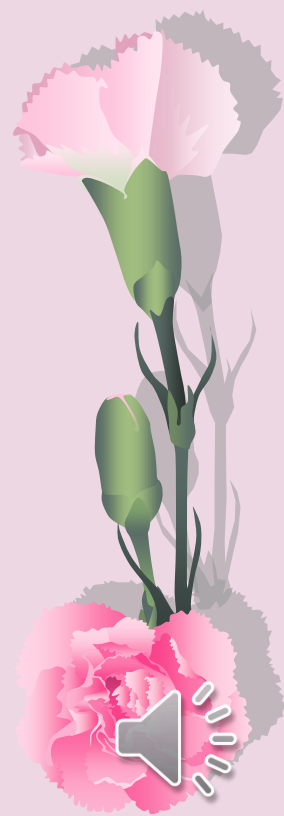
- ・できるだけ静かで落ち着いた環境を提供し
安心して過ごして頂く
- ・職員が1対1で対応し、ご本人のお気持ちが
少しでも落ち着かれる言葉がけができれば
共有する
- ・家事活動に意欲を示されることから、できる
ことを役割として行って頂き、自信を取り戻
して頂く



具体的な取り組み

① 環境・場面を変える

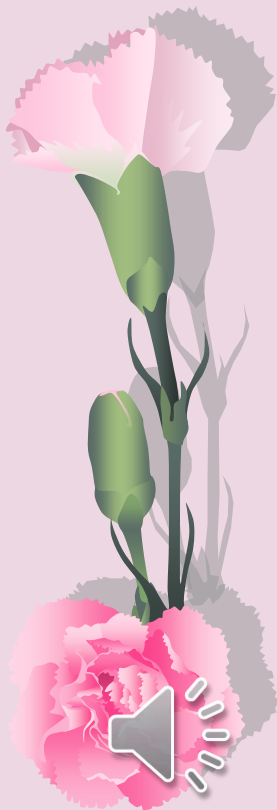
- ・別のユニットで過ごして頂く
- ・居室などでお好きな音楽聴きながらゆっくり過ごして頂く
- ・居室にて横になって休んで頂く



具体的な取り組み

② ご本人の言葉を受け入れる

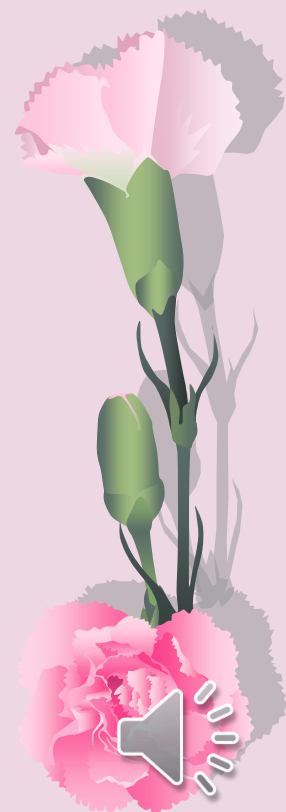
- ・「そんなことはありませんよ」とすぐに言わない
- ・ご本人のつらさを考えながら、できるだけ側で寄り添いお話を聞く
- ・気づいたことは職員間で共有する



具体的な取り組み

③ できる家事を提供する

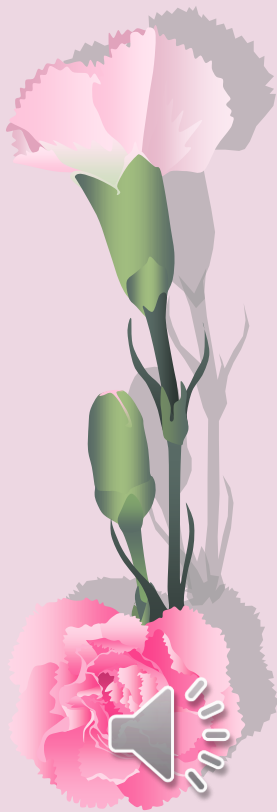
- ・食器拭き・台拭き・床掃除・玄関の掃き掃除
などシンプルな工程の作業をお願いする
- ・職員が側でフォローする



活動の成果と問題点

① 環境・場面を変える

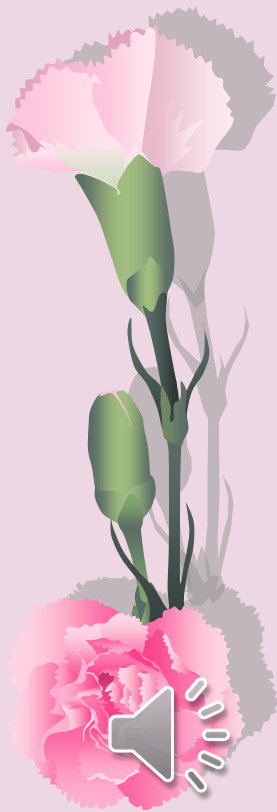
- ・他のユニットの利用者様と過ごされることで環境が変わり、落ち着かれている様子が多く見られた
- ・好きな音楽を聴きながら、過ごす機会を作ることによって、気持ち穏やかに過ごせる時間が増えた



活動の成果と問題点

② ご本人の言葉を受け入れる

- ・表情や声のトーンなど変化を観察し、職員の言葉がけを行った
- ・ご本人が話終えてから言葉を伝えた
→「心配でしたね」「大丈夫ですよ」など
- ・好きな歌を側で一緒に歌うことでも不安な気持ちが緩和された



活動の成果と問題点

③できる家事を提供する

- ・毎日の食器拭きやテーブル拭きを役割として行って頂いている
- ・職員からの「ありがとう」に笑顔で答える

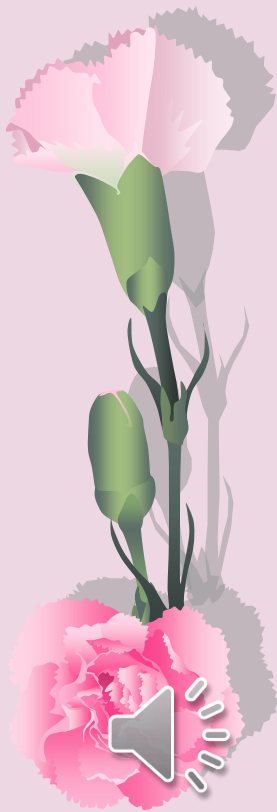
<問題点>

- ・他利用者様も一緒に行う時は混乱し不穩になってしまうことがある
 - 作業を実施する時は職員も一緒に行う
 - 「拭く」という動作に集中して頂く



今後の課題

- ・不穏になる他の原因(季節の変わり目や気温の変化・便秘等の体調の変化・他利用者様との関係など)も分析し、一つ一つに対応していく必要がある
- ・生活歴から関わり方を検討する
- ・職員がユニットの環境に影響を与えていることを自覚し、自分達の関わり・対応を常に振り返る



ご清聴ありがとうございました



グループホーム グレイスフル日義

